

アート & カルチャー

小浜市華道連合会



▲文化祭に向けて花を生ける会員たち



▲11人の指導者が伝統を受け継ぎます

▶文化祭では生け花で多くの来場者の目を楽しませました

市内で華道教室を開く指導者たちが集まってできた華道連合会。設立当時は指導者が3〜4人しかいなかったそうですが、現在は11人が参加しています。普段はそれぞれの教室で、後進を育てながら、毎年11月に開催される市総合文化祭で、指導者と生徒による合同作品発表を行っています。「近年、日本人の生活環境が変わり、花を飾る日本間のある家も少なくなっているようですが、家の中に生けた花があると気分がとてさわやかになります」

生け花の魅力を感じて!

す。華道人口も減っていますが、伝統や技術を絶やさないためにも、若い人を育てていきたいです」と、代表の政道智津子さん(75歳・水取2丁目)は話します。生け花の魅力を探ねると、自分の思い通りに花を生けられるという魅力です。同じ材料を使っても、生けた花はその人によって全部違います。それぞれの個性が出ます。花を生けている時は嫌なことでも忘れて集中できるので、楽しく、やりがいがあります」と、笑顔で答えてくれました。

☆次号は、民謡のやよい会を紹介予定です

頑張る20代の若者を毎月紹介! (vol.3) プリンセス & プリンセス



「患者さんに薬の説明をしたり、薬の副作用のチェックをしたりしています。大変ですが、やりがいを感じています」

まや 川端真弥さん (26歳・生守) 勤務先 公立小浜病院

いろんな経験を積み、生涯薬剤師を続けたい

●趣味 テニス。クラブチームに所属しています ●どんな性格 のんびりした性格。“リラックマ”みたいだと言われます ●休みの日の過ごし方 コーヒーとお菓子を食べながらDVD観賞 ●好きなタイプの男性 優しく一緒にいて楽しい人 ●結婚 20代後半にさしかかり他人事ではなくなってきました ●最近興味のあること 歴史 ●尊敬する人 両親 ●ひとりごと いろんな人にこの記事を見てもらえたらうれしいです ●次号は 竜前の岩本浩輔さんにバトンタッチします

イチ押しトップアスリート



嶺南駅伝で2連覇の駅伝チーム (前列右から2人目が米村さん)

小浜市陸上競技協会

昭和22年に市内の陸上競技愛好者を中心に前身となる小浜陸友会が発足。その後、昭和43年に現在の小浜市陸上競技協会となりました。現在は約100人が参加。今回はその中から、駅伝チームをご紹介します。駅伝チームの監督を務める米村幸真さん(36歳・和久里)。自身も美方高校駅伝部でキャプテンを務めた経験者。4年前に就任してから毎週1回の練習会を開催してきました。「走ることを通して、みんなが集ま

チームワークでつかんだ栄冠



力走する1区の三宅選手

れる場所を作ったかっただけです。練習会の参加も陸上競技協会に限定せず、誰でも参加してもらっています。仲間の輪が広がるきっかけになれば嬉しいですね」と、陸上への思いを語ります。11月11日に開催された第58回嶺南駅伝では昨年続き、みごと優勝を果たしました。「当日は悪天候でしたが、みんなが普段通りの力を出せたのが大きかったです。スタッフ、控え選手を含めたチームワークも良かった。これからも常に挑戦者の気持ちで上位を目指します」と、力強く今後の目標を語ってくれました。※陸上競技協会への参加申し込みは、市民体育館 ☎53・0064まで

★次号は、小浜市サッカー協会を紹介予定です

TOPICS

オバマ大統領再選に熱狂!



市民で作る「オバマを勝手に応援する会」が、11月7日に食文化館を会場に、アメリカ大統領選の投票の様子を見守るパブリックビューイングを開催しました。オバマ大統領の再選が決定的になると、集まった約100人からは大きな歓声と拍手がわき起こりました。国内外のメディア約20社も取材に訪れ、「オバマ」への注目の高さをうかがわせました。

広告

広告

広告

広告